



成田空港南R.C. 会長テーマ

なごみ

和



例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋

事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6 URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
TEL. 0479-80-1177 FAX 80-1178 E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 織田 吉郎 第6分区ガバナー補佐 小川 秀二

平成22年10月21日発行 NO.1947 第2075例会 会長 森川 忠 幹事 行木 英夫 会報担当 越川 忠

例会報告(平成22年10月21日)

点 鐘	会 長 森川 忠
ソ ン グ	「それでこそロータリー」
唱 和	「四つのテスト」
会 長 挨 拶	会 長 森川 忠
会 務 報 告	会 長 森川 忠
幹 事 報 告	幹 事 行木英夫

プログラム

お客様 パストガバナー 白鳥政孝様 (市原RC)
オブザーバー 長島孝夫様 (懶いずみ)
各委員会報告

な施設が多くあるそうです。成田空港も当然これに対抗し離発着30万回を目指すことになりました。近隣市町にも少なからず経済、雇用、また騒音、落下物等の影響が予想されますが、空港南側に位置する我々も見守っていきたいと思います。さて来週26日(火)はロータリー情報研究会です。前回はいくつかの分区が合同で開催されましたが、今回は第6分区の単独開催です。入会后新しい会員はもちろん、すべての会員の皆さんにもロータリーを今一度学んでいただき、今後の奉仕活動に生かしていただければ幸いです。

本日は、白鳥政孝パストガバナーにお越しいたいただき「ロータリー雑感」というテーマで卓話をお願いしてございます。どうかよろしくお願いたします。

会長挨拶



皆さんこんにちは。ここ数日めっきり涼しくなり秋を感じる日々です。昨日20日、鹿児島県奄美大島では秋雨前線の影響により記録的な集中豪雨に見舞われました。2名が亡くなり1名が行方不明ということです。また小中学生138人を含め約200人の方が孤立していて救助を求めているそうです。こころよりお見舞い申し上げます。あまり大きな災害のない千葉県ですが、いざという時の備えはしておきたいものです。そして今朝の新聞、テレビ等でご存知かと思いますが、本日、羽田空港新国際線ターミナルが開業しました。24時間対応で利用者にとっては魅力的

会務報告

先日、山武市教育委員会に行木幹事とともにロータリー音楽祭の後援を依頼してまいりました。参加中学校吹奏楽部すべての教育委員会の後援をいただきました。初めての試みですが、準備も担当委員会中心に進めておりますので今後も会員の皆様のご協力をよろしくお願いたします。

幹事報告

- ①会報受領クラブ
 - ・八日市場RC
- ②ガバナー事務所より
 - 11月ロータリーレート 1ドル=82円
- ③「模擬国連」プロモーション番組が千葉テレビにて放映されます。
 - 10/27(水)7:00~7:15「朝まるJUST」

④回覧

・栗山川サケ放流事業推進連絡協議会より栗山川サケ捕獲状況見学会のご案内が届いております。

・多古RCより訃報のお知らせが届いております。

多古RC 大矢弘美様 (10/20ご逝去)

⑥例会変更のお知らせ

・八日市場RC

11/ 9 (火) 休会 (地区大会振替)

11/23 (火) 休会 (定款第6条)

⑦10/26 (火) ロータリー情報研究会は現地集合と致します。11:30登録開始となっておりますので出席よろしく願いいたします。尚、交通手配のつかない方は幹事まで連絡下さい。

委員会報告

◇ R財団委員会

河野和夫会員がベネファクター認証状を授与されました。



写真左から 内田常任委員長と河野会員

会員卓話

「ロータリー雑感」



第2790地区パストガバナー 白鳥 政孝様

市原ロータリー・クラブに入会し、29年目になります。早いものです。入会してからは、与えられた

委員会活動を通して、先輩からロータリーの知識やルールを教えられ、ロータリーの全体像を描くことができました。クラブ例会からより、セミナーの往復の車中や炉辺会談での談話の方が、ロータリーを知るうえにとっても効果がありました。日ごろいかめしい顔付きの先輩と行動をともにし、ロータリーの話をお聴くにつれ、先輩に親近感を抱くようになりました。それからは気楽に例会に出席できるようになり、ロータリーを身近に感じるようになりました。

何回も担当した週報の作成をテープ起しから始めて正味4時間かけて、分からない言葉を訊きながら要旨を纏めるのに苦労しました。そのうち要領を覚えてテープ起しよりも卓話をメモして話の要旨を書き上げる方が数段早く、しかも正確にできるようになりました。こうした経験は、各種講演やセミナーを受講する際メモをとるようになり、その後の私に大変役にたっています。

そのほか、ロータリーはいろいろな役目を与えてくれます。そのたびに、それまでに気にしたことのない洞察、寛容、親睦、多様性、高潔性とは何かを真剣に考えるようになりました。そうこうしているうちに、思慮深い考えや分別ある感覚が、ロータリー・ライフの中でごく自然に養われていることに気がきました。

クラブ会員との交流から人間形成ばかりでなく、趣味の幅も広くなり、豊かな感性ともいえるセンスを身につけるようになって、ロータリーは私の人生に彩りと豊かさをもたらしています。それは予想をはるかに超えたもので、私にとってロータリーは、感動的であり、刺激的であり、教訓的であり、未知の世界への誘いであり、人生最大の師との出会いとなっています。もっと知ろう、もっと学ぼうという気持ちが沸々と湧いてきて、学べば学ぶほどロータリーは幅が広く、奥行きあるものとなってまいりました。その気になりさえすれば、ロータリーはあらゆる分野のセンスを磨く機会を与えています。これは実に驚くべきことであります。

中村滝男さんの書いた本に「メダカが空を飛ぶ」という話があります。ある禿山の上に大雨が降った後、くぼ地が池になってそこにメダカがいる。なぜメダカがそこにいるのか。メダカが空を飛んできたとしかいいようがない。小、中学生に聞けば「竜巻が起こったからではないか」とか、「コイと同じく山を登ってきたのではないか」と答えるかもしれない。しかし、それは川がないからできることではな

い。

分別のある大人でしたら、次のように考えます。「山の下にある池で鳥が魚を食べていました。しばらくするとおなかが一杯になって、鳥は上に飛び立って下を見ると、水溜りがあるので、そこで鳥は水を呑みました。そして飛び去りました。しばらくして水溜りにはたくさんのメダカが泳ぐようになりました。つまり、下の池にメダカの卵がいっぱいあって、鳥の羽や足に付着して禿山の上の水溜りに、その鳥が飛来して卵が孵化し、メダカがいるようになった。」それしか考えられないといいます。

小、中学生は一面的にしか考えられないから、いくつかの事柄を繋げて考える感性（センス）がありません。大人になると経験や知識からいろいろ多面的にものごとを考えることができます。この多面的に（いろいろな角度から）考えることができるか、できないかは、その人の人生において大変大切なことです。

利害関係のないロータリーでは、クラブ運営やプロジェクトの推進、さらにロータリーの哲学や思想などを自由闊達に話しあいながら物事を進めてまいります。そこには、お互いの意見を尊重しあうというロータリーの大原則（四つのテスト）があるので、相和するうちに、物事を一面的でなく、多面的に捉えることをロータリーはいつでも訓練して学びあっています。もし、クラブ内で他の意見を尊重するような、また、お互い良い面を感化しあうような雰囲気でないとするならば、そのクラブは食事をするだけの単なる親睦団体にすぎず、ロータリーの良さを知らずしてロータリーを本当の意味の楽しさを味わっていないと思います。ジワートにじみ出てくるような楽しみを味わいたいですね。瞬間的な、一時的な楽しみとは大きな質の違いがあります。

「例会は人生の道場である」とか、「自己研鑽を積む場である」というのは、クラブ内の雰囲気但至少でも良い方に向けていこうという会員の気持ち次第ということになります。ロータリーは品位の向上を綱領でいっております。

ロータリーの世界では、常に四つのテストを念頭において、いったん俗世間から離れて精神が純化された者が集う世界であり、向上心と寛容や謙虚さを備えた者どうしの友情溢れる世界であり、四つのテストを言行一致させようと努める仲間が寄り合う世界は実に楽しいのです。ロータリーを心底から楽しもうと努めたいものです。

ロータリーの職業奉仕の理念を学ぶのも、クラブ奉仕からいろいろ体験するのも、社会奉仕、国際奉仕の実践から世の条理・不条理を知るのも、友情を育むのも、すべては週一度の例会に集い、顔と顔を合わせて語り合うことが出発点となります。このことを皆様十分に知っていることですが、それを活用することにおいては人さまざまであります。はたして十分にロータリーを活用しているかどうか、時々自問してみることが大切ではないでしょうか。

決して安いとはいええないロータリーの年会費と貴重な時間を費やしているのですから、ロータリーを十分に活用したいものです。それは一寸した心の持ち方次第であります。難しく考えるよりは、自分自身が実際においてどう考えて、どのようにロータリーで行動しているかであります。

一例を挙げれば、例会出席やロータリー談義などに進んで加わっているかどうかで自分のロータリーの活用の度合いを測ることができます。クラブ内で自分自身が妬み、嫉み、やましい気持ちがないだろうかと省みることの自問もあります。その場合無心になって他の人とのロータリー談義はロータリーの活用に沢山の効果をもたらします。委員会活動、炉辺会談などは大事ですね。

私はクラブや地区から、あるいは世界中のロータリーから（おもに「ロータリーの友」を通して）見聞を広め、いろいろな分野に関心を持つようになり、今までにない角度からも物事を見るようになりました。未知の分野への関心から知識を得て、実際に体験することから分別ある教養が身につきました。そして、より向学心が芽生え次から次へと良い循環に自分自身をおくようになり、自己中心の考えから抜けて人間性の向上に繋がっているのではないかと考えています。人間が以下いかに生きるかを追求する哲学と思想があると同様に、ロータリーにおいても人間形成を第一において哲学や思想を大事にしているので、奉仕の哲学やロータリーの理念を学ぶことは基本中の基本であります。とりわけロータリーの職業奉仕の追及を怠ってはならないと思います。原理原則を知らずしてロータリーを語れないのであります。

さらに、ロータリーは自己の欲望をいかにコントロールするかを常に訓練させていることから、物事の判断する際に何処に一線を引くかのとき、ロータリーで養った判断力がものを言います。世の中のためになるところで線引くか、どうか。これはまちまちであります。より精神の高揚したところで線を引くようにロータリーは向上させる力をあたえ、それを促しています。そのことからロータリーには終わ

りはないのです。これでロータリーをマスターしたということはありません。エンドレスであります。こうして考えるとロータリーは実に大変だと思えますね。しかし、そればかりではありません。ロータリーには自己研鑽の訓練中に本当の心の仲間ができます。この方々との週一度の語り合いによって、お互い心が癒されるのです。同じ釜の飯を食う意味がここにあります。

こうして皆さまとお会いし、卓話を体験し、学ばせて頂いています。もし、ロータリーに入会していなかったら、もしロータリーをまじめに学んでいなかったら、このようなことは無かつたろうと思えます。ロータリーが及ぼす影響は実に凄くと思えます。また、もしロータリーに入会していないならば、これほどの人間的な成長と、世の中の真実（本質）を知りえたかどうか疑問であります。

入会して30年近くなる今、心が後ろ向きになったとき、何度もロータリーを辞めようと思ったことがあります。ロータリーをより深く知り、いろんな人との出会いから後ろ向きの心が前向きに転じたりする繰り返しでしたが、辞めないでいて本当に良かったと思っています。

鎌倉時代初期の道元禅僧の言葉に「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」という一節があります。朝早く起きて、朝もやの中を歩いて帰ってみると、知らないうちに衣が湿っていた。その場所にいるときはわからないが、知らないうちに影響を受けてしまう。ある雰囲気の中にいると自然にその影響を受けてしまうという話です。子供の教育に環境が大事であるからという「孟母三遷の教え」もあります。人生において周囲の環境がその人におよぼす影響はとても大きいものがあります。

いまロータリーの広報が声高に叫ばれていますが、「ロータリーは夜中にしとしと降る春雨のごとし」ともいわれていたこともあります。夜半に春雨が人知れず音もなく降りそそぎ、翌朝起きてみるとあたり一面はしっぼりと湿っている。なんともいえない静寂で安らいだ雰囲気を醸しだしている。ロータリーとは地域社会において夜中に人知れずしとしと降る春雨のごとしというのであります。含蓄のある話です。

こうしてみると所属するクラブの雰囲気がロータリー・ライフの中でどんなに大切であるか、いうまでもありません。クラブを切磋琢磨、自己研鑽の場とし、友情を育む場とするならば、クラブの雰囲気作りをおろそかにできないと、つくづく思います。私のクラブ、私たちのクラブです。クラブの雰囲気作りを真剣に考えていくことが、奉仕の理念を実践

する第1歩であると思えます。

私は28年間のロータリー・ライフにおいて多くの感動と恩恵をたっぷり受けています。これもロータリーとロータリアン皆さま方のおかげであると、また家族、会社の従業員のお陰でもあると深く感謝しています。

ご清聴有難うございます。

ニコニコボックス

パストガバナー白鳥政孝様

…先日18日の地区委員会では菅井委員長、富委員長には大変お世話になりありがとうございました

菅井直秀君・野島暉通君・鶴沢光雄君

・倉石昌治君

…白鳥パストガバナーようこそお出で下さいました。また卓話もいただき本当にありがとうございました

鈴木恭一君

…白鳥パストガバナー昨年は大変お世話になりました

河野和夫君・小川佐内君

…白鳥パストガバナー遠路はるばるありがとうございました

向後雅生君・内田裕雄君・森川忠君

・小林定雄君・渡辺孝文君・行木英夫君

・高田一行君・幸克己君

…白鳥パストガバナー卓話ありがとうございました

川島宥君

…会員夫人二矩子さんが第62回千葉県展書道の部に入選されましたので

野島暉通君

…誕生祝いありがとうございます

本日計	23,000円
累計	334,000円

出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
10月21日	42	26	4	78.6

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

■ 会員自己紹介 （石田喜一会員）



銚子商業高等学校を卒業して、日本国有鉄道に入り変動期に組合運動を勉強して、
民営化と共に東日本旅客鉄道株式会社が変わって、50歳を迎えた時に退社して、
現在の有限会社 あきば造花店を皆様に喜んで戴ける葬儀を目指して頑張っています。
国鉄・JRの時は、遊びに夢中でいろいろな遊び事を勉強致しました。
後悔はありませんが、ただ、井の中の蛙で、世の中の事や勉強をしていない自分が、
今後 どうなるか困っています。
趣味は、多彩で旅行・ゴルフ等何でも来たれで毎日を過ごしています。
誘われた時が、“華” と思って 勝手な人生を過ごしております。
ロータリークラブに入会して諸先輩方のお蔭で毎日を楽しく過ごしていますが、
残念なのは、齋藤会長の時に、幹事で在りながら病気で皆様に
大変なご迷惑をかけたことです。
これからの、人生は、下手なゴルフと楽しいお酒を愛し、我が人生に悔いを残さない
よう生きていきます。
葬儀でお困りの友達が筈でしたら、何なりとご相談下さい。
真心を込めてお手伝いさせていただきます。

■ 会員自己紹介 （遠藤亮一会員）



はじめまして、遠藤 亮一と申します。生れも現住所も旧横芝町栗山で、子供の頃は辺り
一面松林でしたが、この頃は住宅、スーパーマーケットなどもでき、賑わっています。
職業は親の代より鉄鋼二次製品の加工、販売（コンクリート二次製品用の鉄筋加工、販売、
住宅基礎鉄筋の加工、販売）を営んでおり、現在は長男と共に、仕事をしております。
家族構成は母親、私共夫婦、長男夫婦、孫二人と四世代七人家族で毎日を忙しく暮らして
おります。
井の中の蛙、大海を知らずと言いますが、還暦を目の前にして、自分の狭い世間から、
もっと広い世間を見たいと思いました。そのような時に、友人でもある土屋俊夫氏より
成田空港南ロータリークラブへのお誘いを受け、入会させていただくことになりました。
今後ともよろしく願いいたします。